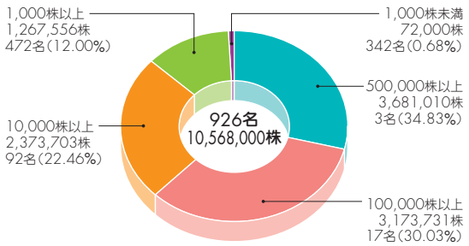
株式の状況（平成25年9月30日現在）

- 発行可能株式総数　45,568,000株
- 発行済株式の総数　10,568,000株
- 株主数　926名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	911（千株）	10.85（%）
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	600	7.15
株式会社みずほ銀行	414	4.93
株式会社三井住友銀行	380	4.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	305	3.63
ヤギ従業員持株会	290	3.46
第一生命保険株式会社	250	2.98
クロスプラス株式会社	219	2.61
株式会社千趣会	155	1.85
ビービーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ ファンド	153	1.82

（注）持株比率は自己株式（2,169,210株）を控除して計算しております。

- 所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当　3月31日 中間配当を行うときは9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.yaginet.co.jp/ir/denshikoukoku.html

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 ヤギ

〒540-8660　大阪市中央区久太郎町二丁目２番８号
http://www.yaginet.co.jp/

2013

第102期

中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

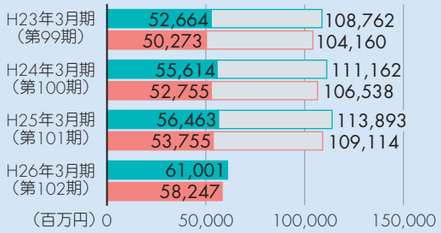
YAGI

証券コード 7460

財務ハイライト

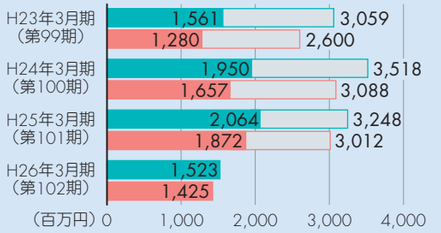
売上高

《連結》■中間 □通期《単体》■中間 □通期



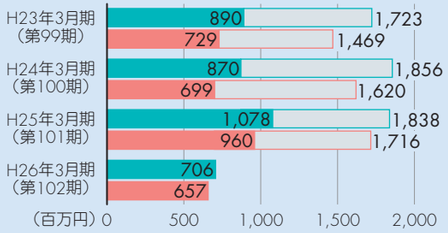
経常利益

《連結》■中間 □通期《単体》■中間 □通期



中間（当期）純利益

《連結》■中間 □通期《単体》■中間 □通期



本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINETや東証適時開示情報閲覧サービスおよび当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成25年9月30日をもって第102期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の前半を終了しましたので、ここに経営実績とともに事業概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府主導の経済政策、金融緩和対策の推進を背景とし、株価回復、一部には企業収益の改善が見られるなど景気回復に向けた明るい兆しが見え始めています。しかしながら、依然として欧州債務問題、中国経済の減速など世界経済への不安材料が多く、先行き不透明な状況が続いております。

繊維業界におきましても、景気回復への期待感から高価格帯商品の売行きが好転するなど個人消費マインドの改善が見られましたが限定的であり、個人消費全体の回復には至っておりません。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「NEW YAGI 120」の最終年度にあたり、重点施策である「海外市場の開拓」「川下志向」「機能強化」「人材育成と社内インフラの整備」を進めております。原料、テキスタイル、繊維二次製品の各部門におきまして、高付加価値商品の開発や優良取引先との取り組み強化に注力するとともに、引き続きチャイナプラスワンの開発を進めております。

この結果、当中間期の売上高は61,001百万円（前年同期比8.0%増）と増収となりましたが、円安による二次製品を主とした輸入品のコストアップが影響し、営業利益は1,014百万円（前年同期比46.6%減）、経常利益は1,523百万円（前年同期比26.2%減）となりました。また、特別損失355百万円（前年同期比71.4%増）を計上したため、中間純利益は706百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

通期につきましても、引き続き経営環境は厳しいものと思われ、また当中間期の業績を勘案し、当社グループの通期業績予想（平成25年5月公表）を修正いたしました。売上高は、120,000百万円（当初予想比5,000百万円増）、営業利益は3,000百万円（当初予想比500百万円減）、経常利益は3,400百万円（当初予想比変わらず）、当期純利益は1,840百万円（当初予想比210百万円減）と修正いたしました。

当社グループといたしましては、引き続き中期経営計画「NEW YAGI 120」の重点施策を推し進め、企業価値の向上と経営体制の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年11月

代表取締役社長

八本秀夫

中期経営計画（平成24年３月期～平成26年３月期）

当社は、平成23年４月より中期経営計画「NEW YAGI 120」を進行させております。

◆基本方針

経営理念に基づき活動し、優良取引先との取り組み深耕と新規顧客開拓を進めていきます。
マーケットの変化・商材の調達拠点の大きな変動を的確に捉え、当社グループの機能強化に徹底して取り組んでいきます。これらにより当社グループの存在価値を高め、収益の向上と将来の収益の源泉となる事業基盤の構築を進め、企業価値の増大を目指します。

【より消費者に近い販売先および消費者直結の販路を開拓する】
（1）B to C 取引（企業と消費者との取引）の構築
（2）高付加価値商品の開発
（3）自社ブランドの構築
（ブランドビジネスへの挑戦）

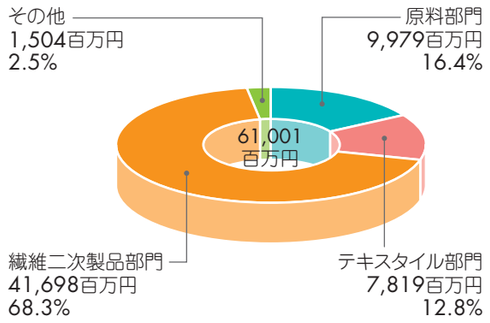
【海外マーケットへの販売シフトを実行する】
（1）海外テキスタイルメーカーとの取り組み強化
（2）中国・欧米等、海外市場の開拓
（3）海外グループ会社の業容拡大

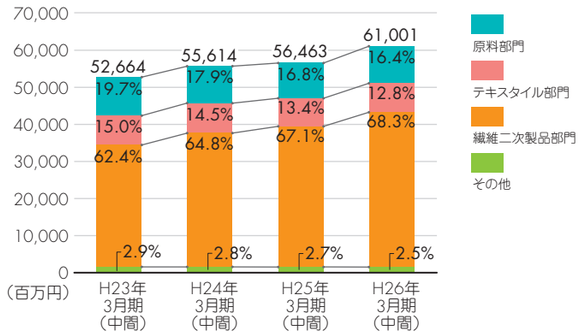
【人材育成・組織の活性化および活用、社内各部門・分野での協業による拡販、持続可能な開発体制の構築】
（1）人材育成、組織・従業員の活性化および活用
（2）変化への対応力を強化するための助成システムを整備・実施
①事業開発への取り組み推進と事業投資の実施
②社内横断的プロジェクトチームの結成および活動を助成・評価する体制の整備・実施
（3）優良パートナーの確保を積極的に推進

【ヤギグループの存在意義をアピールできるものを重視する、優良取引先との取り組み深耕を図り業界シェアの拡大を図る】
（1）オリジナル原料・独自性の高い商品の開発
（素材に対する世界規模の情報収集と国内加工場との連携によるオリジナル素材・製品の創出）
（2）企画提案力の強化
（二次製品およびテキスタイル素材のODM化）
（3）生産体制の構築
①チャイナプラスワン
（アセアンおよび中国奥地等）の開発
②縫製工場の建設・出資による生産拠点の確保・運営
（4）資材用途の開発・販売
（5）海外グループ会社とのコラボレーションの拡充

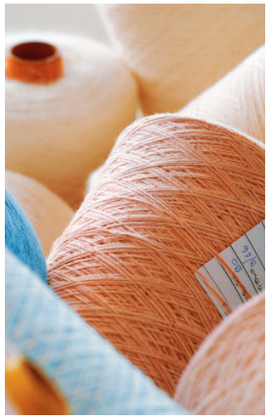
部門別の概況

部門別売上高構成比　平成26年3月期中間





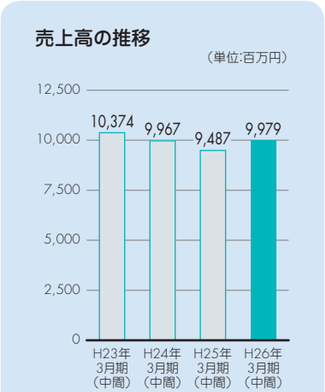
原料部門



原料部門では、円安の影響により長繊維、短繊維分野ともに輸入原料のコストアップが続いており、採算の見直しを迫られている状況ですが、輸入品、国内原料とも値上げ分を売り先に転嫁できず厳しい環境下にあります。資材用途向けの原料輸出に関しましては、北米を中心とした先進国や新興国などの需要に支えられ比較的好調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き高機能糸などの高付加価値商品の国内外への拡販を推し進めるとともに、生産効率化に注力してまいりました。

この結果、原料部門は売上高9,979百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

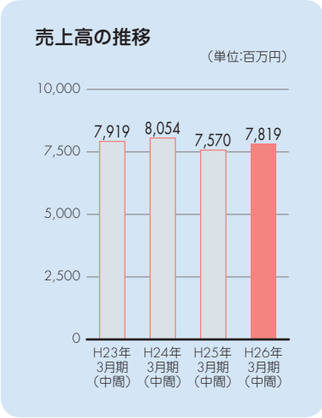


テキスタイル部門

テキスタイル部門では、円安の影響を受け仕入先から価格の見直しを迫られる一方、そのコストアップ分を販売価格へ転嫁できず非常に苦しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、天然素材、機能素材を含めたオリジナル商品の拡販を進め、海外向けにも日本素材の輸出に注力してまいりました。また中心的な販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」では、国内素材に対する要望に応えるべく、素材企画力を活かした幅広い提案を行い、商品差別化に努めてまいりました。

この結果、テキスタイル部門は売上高7,819百万円（前年同期比3.3%増）となりました。



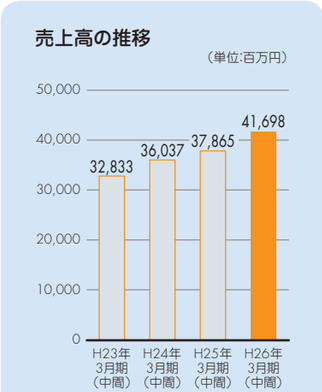
繊維二次製品部門

繊維二次製品部門では、店頭におけるヒット商材が少なく、夏のセール時期が分散化しており盛り上がりを欠いた商況で厳しい状況で推移しました。また、中国生産の加工賃上昇に加え、急激な円安の影響による原材料高騰でコストアップが続いております。一部で店頭価格を上げる動きも見られましたが、全体としてはコストアップ分を販売価格へ転嫁できず収益の悪化を余儀なくされ、大変厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、ODM（企画段階から請け負い、製造、供給する）生産を推進するとともにオリジナル商材を開発するなど競争力強化に努めてまいりました。

さらに、中期経営計画に基づき、生産体制においてチャイナプラスワンの海外拠点を有効に活用し安定供給を図る一方、生産基地を柔軟にシフトさせ、為替変動に影響されない商売の仕組み作りを進め、利益改善に注力してまいりました。

この結果、繊維二次製品部門は売上高41,698百万円（前年同期比10.1%増）となりました。



中間連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科目	平成26年3月期中間（平成25年9月30日現在）	平成25年3月期（平成25年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	46,293,965	41,985,243
固定資産	12,708,706	12,004,502
有形固定資産	4,604,994	4,678,299
無形固定資産	10,877	12,870
投資その他の資産	8,092,834	7,313,332
資産合計	59,002,672	53,989,746
（負債の部）		
流動負債	28,568,534	24,447,304
固定負債	3,318,128	3,041,629
負債合計	31,886,662	27,488,933
（純資産の部）		
株主資本	25,336,930	25,008,845
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	25,073,119	24,744,861
自己株式	△ 1,629,377	△ 1,629,205
その他の包括利益累計額	1,774,233	1,487,064
少数株主持分	4,845	4,902
純資産合計	27,116,010	26,500,812
負債・純資産合計	59,002,672	53,989,746

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科目	平成26年3月期中間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成25年3月期中間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	61,001,042	56,463,797
売上原価	54,490,046	49,024,282
売上総利益	6,510,996	7,439,515
販売費及び一般管理費	5,496,388	5,538,257
営業利益	1,014,607	1,901,257
営業外収益	597,178	235,971
営業外費用	88,123	72,780
経常利益	1,523,662	2,064,449
特別損失	355,939	207,712
税金等調整前中間純利益	1,167,723	1,856,736
法人税等	461,576	778,499
少数株主損益調整前中間純利益	706,146	1,078,236
少数株主利益	△ 61	8
中間純利益	706,208	1,078,227

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

科目	平成26年3月期中間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,980,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 444,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,583,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,252
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	187,775
現金及び現金同等物の期首残高	1,094,072
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,281,848

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要（平成25年9月30日現在）

社　　名　株式会社　ヤ　ギ
英文社名　YAGI & CO.,LTD.
創　　業　明治26年10月16日
設　　立　大正７年４月28日
資 本 金　1,088,000,000円
主要な事業内容　綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地および衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
主要な事業所　（国　内）本　　店　大阪市中央区久太郎町二丁目２番８号
支　　店　東京（東京都中央区）、福井（福井市）
出 張 所　名古屋（名古屋市）
営 業 所　和歌山（和歌山市）
（海　外）駐在員事務所　上海(中国)、広州（中国)、ホーチミン（ベトナム）
代 理 店　ミラノ(イタリア)
イスタンブール(トルコ)

役　　員

代表取締役社長	八木秀夫
代表取締役専務取締役	朝野幸博
常務取締役	中根　巖
常務取締役	備酒　聡
取締役	藤邉　直
取締役	八木隆夫
取締役	長戸隆之
監査役（常勤）	大原弘幸
監査役	奥村忠司
監査役	池田佳史

（注）監査役奥村忠司氏および池田佳史氏は、社外監査役であります。

当社グループ会社の状況

	会社名	所在地	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
連結子会社	株式会社八木ビル	大阪市中央区	100百万円	100%	不動産賃貸業
	日本パフ株式会社	大阪府寝屋川市	50百万円	100%	化粧用パフおよび外衣製造
	株式会社ヴィオレッタ	大阪市城東区	95百万円	99.75%	編レース製造
	YAGI & CO.,（H.K.）LTD.	香港	11百万香港ドル	100%	繊維製品およびその原料の輸出入販売
	株式会社マルス	大阪市中央区	60百万円	100%	不動産賃貸業

	会社名	所在地	主要な事業内容
非連結子会社	株式会社ソレイユ	石川県加賀市	編レース製造
	株式会社TILA MARCH JAPON	東京都港区	バッグ・シューズの小売
	株式会社ジョイテックス	東京都渋谷区	ニット生地の販売
	日帕化粧用具（嘉善）有限公司	中国浙江省嘉善県	化粧用パフの製造
	譜洛革時（上海）貿易有限公司	中国上海市	繊維製品の販売
	八木貿易（深圳）有限公司	中国広東省深圳市	原料・テキスタイルの販売
	ピーティ サンダン マジュ レスタリ	インドネシア・ジャカルタ	繊維製品の販売
	保定八木化纖有限公司	中国河北省保定市	複合加工糸の製造・販売
	ヤギ バングラデシュ ガーメンツ リミテッド	バングラデシュ・ダッカ	カジュアルウェアの製造
	モンド ヤギ ラオ カンパニーリミテッド	ラオス・ヴィエンチャン	スーツの製造
	YAGI & CO.,（MYANMAR）LTD.	ミャンマー	縫製品の生産管理業
	SOCAL GARMENT LLC	アメリカ合衆国 カリフォルニア州	衣料品の製造・販売

	会社名	所在地	主要な事業内容
関連会社	フジサキテキスタイル株式会社	東京都墨田区	テキスタイルの販売
	山東華発絲綢服装有限公司	中国山東省昌邑市	婦人服等の製造
	濰坊魯発服装有限公司	中国山東省昌邑市	婦人服等の製造
	江西四季社服飾有限公司	中国江西省崇仁県	婦人服等の製造
	ケービー ヤギ ラオ カンパニー リミテッド	ラオス・ヴィエンチャン	スーツの製造
	芽宝（上海）服飾有限公司	中国上海市	子供服の中国内販